

教育民生委員会記録

開会年月日	平成25年3月12日
開会時刻	午後4時08分
閉会時刻	午後4時54分
出席委員名	◎中山裕司 ○吉岡勝裕 野崎隆太 世古明
	広耕太郎 藤原清史 黒木騎代春 西山則夫
	中村豊治
	杉村定男 議長
欠席委員名	なし
署名者	野崎隆太 世古明
担当書記	中川浩良
審議議案	所管事務調査 「伊勢市病院事業に関する事項」
	・新市立伊勢総合病院建設基本計画（案）について
説明員	市長 副市長 病院事業管理者 病院事務部長 健康福祉部長 健康福祉部次長
	健康課長 新病院建設推進課長 病院事務部参事 病院総務課副参事
	病院経営企画室長 新病院建設推進課副参事 医療事務課長
	都市整備部参事 総務部理事 消防長 情報戦略局長 総務部長
	情報調査室長 行政経営課長 行政経営課副参事 総務課長 広報広聴課長
	ほか関係参与

審査結果並びに経過

中山委員長開会を宣言し、会議録署名者に野崎委員、世古委員を指名し、所管事務調査案件となっている「伊勢市病院事業に関する事項」を議題とし、継続調査することと決定し委員会を閉会した。

開会 午後4時08分

◎中山裕司委員長

それではただいまから教育民生委員会を開会をいたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立をいたしております。

それでは会議に入ります。

本日の会議録署名者2名を委員長において野崎委員、世古委員の御両名を指名いたします。

本日の審査案件は、所管事務調査案件となっております「伊勢市病院事業に関する事項」であります。

議事の進め方につきましては委員長に御一任願いたいと思いますが御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

はい、異議なしと認めます。

そのように取り計らわせていただきます。

なお本日の委員会におきましては、市長から出席の申し出がございましたので、委員長において了承しておきましたので了解をいただきたいと思っております。

それでは「伊勢市病院事業に関する事項」についての御審査を願います。

「新市立伊勢総合病院建設基本計画案等」についての報告を願います。

推進課長。

●成川誠新病院建設推進課長

それでは新市立伊勢総合病院建設基本計画（案）等について御説明申し上げます。

まず、本日の資料の配付が遅れましたことをおわび申し上げます。

説明の前に申しわけございませんが、資料の訂正をお願いしたいと思います。

資料の25ページのちょうど真ん中ですが、委員の発言、左側に「委員」としていただいておりますが「地方公営企業法の全部適用を最大限活用し、経営改善を進めていただきたい」との部分の「いただき」の「き」が抜けておりました。申しわけございません、加筆をお願いしたいと思います。

それでは、資料1の1ページをごらんいただきたいと思います。

初めに、第7回新市立伊勢総合病院建設基本計画策定委員会を開催いたしましたので、その概要について御説明申し上げます。

第7回策定委員会は平成25年3月10日、午後5時30分より市役所東庁舎4階、4-2会議室

で策定委員8名の出席で開催をいたしました。

策定委員会での検討内容でございますが、(2)パブリックコメントの結果につきましては、提出された意見に対する市の考え方など、結果について説明をいたしまして、承認をいただきました。

なお策定委員からは、現在、検討している総合診療科について、総合内科的に患者が受診すべき診療科を院内紹介するような形であればよいのではないかといった意見や、伊勢赤十字病院との救急医療の輪番体制について、新病院ができてからではなく、今からでも担う役割を上げていただきたいとの意見をいただきました。

恐れ入りますが6ページをごらんいただきたいと思います。

新市立伊勢総合病院建設基本計画案のパブリックコメントの結果について、御説明申し上げます。

パブリックコメントにつきましては、基本計画案の概要を広報いせや病院ホームページへ掲載し、市役所や総合支所、図書館、生涯学習センターなどの公共施設で閲覧を行うとともに、伊勢市行政チャンネルでのお知らせ等により周知を図り、2月1日より2月28日まで1カ月間実施をいたしました。

またパブリックコメントの期間中に、市内4カ所で説明会を開催させていただきました。

次に(4)のパブリックコメントの結果でございますが、①意見募集の結果は、意見者数76名、意見数が22件ございました。

次に②の説明会の結果でございますが、2月17日から20日にかけて、市内4カ所で説明会を実施いたしまして、参加者総数103名、意見者総数20名、意見総数が21件ございました。

パブリックコメントの内容につきましては、7ページから11ページにかけて、22件の御意見に対して市の考え方を整理いたしております。

今後、新病院に向けて目指していくことや、取り組んでいくこと、基本計画案で予定しているものにつきましてはその考え方を示し、今後検討が必要なことに対しましてもその考え方をお示しさせていただきます。

今後検討していくことといたしました主な回答内容としましては、7ページの1番下のナンバー5、「現在地の公共交通機関利用の利便性をさらに充実していくよう検討課題とすること」、8ページのナンバー6、「屋外でくつろいでいただけるスペースを検討すること」、ナンバー11、「総合診療科について検討していること」、9ページのナンバー15、「医療情報システムの導入に当たり、スタッフの配置を含め十分な準備期間をとること」などが御意見をいただき、今後検討していくこととしたものでございます。

次に9ページのナンバー19、「地域包括ケアを実施するべき」との御意見に対しましては、市として今後、推進していくこと、伊勢地区医師会や関連施設との連携を基軸に、市民病院としての役割を担っていくことといたしております。

次にナンバー20、「経営改善」に対する御意見につきましては、伊勢赤十字病院とともに急性期医療を担い、また地域に不足している医療分野を補完し、切れ目のない医療の提供は今後必要であり、医師奨学金制度や医師人事評価制度の導入、三重大学との連携強化を図り、医師確保に取り組んでいくこと。組織強化を図り、収入増加や経費削減などに取り組んでいること。新病院建設と同時に、経営改善にさらに積極的に取り組んでいくことといたしております。

次に10ページから11ページにかけてのナンバー21、「新病院建設地を伊勢市駅前とする意見」でございますが、70名から意見が出されました。

伊勢市駅内への新病院建設に対する市の考え方といたしましては、自動車交通、公共交通とも利

便性がよく中心市街地活性化に向けての大きな起爆剤になることが期待されるという面もありますが、一方で敷地面積が5,000平方メートル程度で土地の高度利用となり、建築計画の柔軟性に制約があるとともに将来的な施設拡張についても余裕がなく、また非常時の傷病者の受け入れスペースをとりにくいという面もあることから総合的に判断した結果、交通の利便性もよく十分な敷地を確保でき、医療環境に適している現病院の敷地を拡張して、新病院を建設していくことといたしました。

現地での建てかえは軟弱地盤対策が必要となりますが、土質調査と解析を行い、適切な工法を検討して対策を行います。

また伊勢市駅前につきましては、中心市街地活性化や、高齢化が進展する中での安全安心健康なまちづくりの面から市の重要課題と捉えており、市全体として今後も取り組んでいくことといたしております。

次に12ページから18ページにかけましては、4カ所で開催いたしました説明会で出された意見と市の考え方について整理をいたしております。

主な御意見といたしましては現在地の軟弱地盤対策、伊勢市駅前を建設地とする意見、地域内の他病院との役割分担、病院経営や経営形態、医師確保対策、高齢者医療などがありました。

説明会で回答いたしました市の考え方についてまとめておりますので、御参照いただきたいと思います。パブリックコメントの内容につきましては以上でございます。

恐れ入りますが6ページへお戻りいただきたいと思います。

1番下の、2パブリックコメントの結果を受けての修正内容でございますが、今回、市民の皆様から数多くの貴重な御意見をいただきました。

今後の病院運営に反映してまいりたいと考えておりますが、新市立伊勢総合病院建設基本計画案に関しましては、原案どおりといたしたいと考えております。

次に19ページをごらんいただきたいと思います。

19ページから22ページにかけましては、去る2月14日に開催いただきました本委員会へお示した市立伊勢総合病院の経営形態についての資料と同じものでございます。

市の方針として、市立伊勢総合病院の経営形態は、市民病院として市民の生命と健康を守るという使命の観点から、今後も市の組織として位置づけ、健康福祉部等、市行政と密接に連携しながら現行の地方公営企業法の全部適用を継続していくことについて、策定委員会へ報告をいたしました。

恐れ入りますが1ページへお戻りいただきたいと思います。

2策定委員会院内検討会議、庁内検討会議の経過につきまして、1ページから4ページにかけて記載をさせていただいております。

また23ページ以降に第7回策定委員会の議事録を添付しておりますので、御高覧をお願いいたします。

以上によりまして、新市立伊勢総合病院建設基本計画を原案のとおり策定いたしたいと考えております。

また、平成25年度より新病院建設に向けた作業を速やかに進めていくために必要となる敷地造成に係る調査費等につきまして、本議会中に補正予算を提出したいと考えております。

新市立伊勢総合病院建設基本計画（案）等についての説明は以上でございます。

よろしく願いいたします。

◎中山裕司委員長

はい、ありがとうございます。

それでは、ただいまの報告に対しまして御発言はございませんか。

はい、野崎委員。

○野崎隆太委員

御説明ありがとうございます。

今回、どの部分までしゃべったらいいのかというのがちょっとわかりづらいところはあるのですが、今後のスケジュールに関しては先ほど御説明のあったとおり、このままこれは案としてどこかの段階で確定をさせて進めていくということだと思っておりますけれども、確定をさせるのはどの段階でされるのですか。

◎中山裕司委員長

事務部長。

●佐々木昭人病院事務部長

10日の日に策定委員会でも意見をいただきました。

そして今日、この教育民生委員会で御意見をいただいた上です、早急に市として病院として計画を策定をしてまいる、その上で最終日に補正予算として議会へ提出をさせていただきたい、このように考えております。

◎中山裕司委員長

はい、野崎委員。

○野崎隆太委員

わかりました。

病院の建設基本計画はこの案で進んでいくというところの話なのですが、以前から少しちょっと御指摘をさせてもらっていますけれども、財政計画の部分で、申し訳ないのですが今年度、予算委員会にも入っていますので、また明日以降にもそこでも言わせてもらおうと思うのですが、あのおりに進むとはちょっと思えないのです。

パブリックコメントでも実際その、財政をかなり気にするような声が出てきていたと思うのですが、まずその、今入ってるコンサルさんがいらっしゃいますよね。そのコンサルさんは予算どおりに行けるというような形で、まず話をしているのか、その辺もし相談があったら教えていただけますでしょうか。

◎中山裕司委員長

事務部長。

●佐々木昭人病院事務部長

当然のことながらコンサルに委託をさせていただいておりますので、コンサル等々ともアドバイ

スもいただきながら計画はつくり上げています。

財政収支計画はその計画の中の一環でございますので、コンサルの関わった中で策定をさせていただいているということは、おっしゃるとおりです。

私どもが思っておりますのが、病院、特に伊勢病院の場合には今回、計画を考える際にですね、地域にある医療資源、それから将来も含めた地域における医療需要、こういったものの中で伊勢病院が果たす役割、こういったことから規模であるとか機能、こういったものを導き出しております。

つまりその機能・規模、こういったものを確実に実行できる体制をつくること自体が病院としての責任であり、また患者数をふやし、収益をふやしていく、それが経営改善につながっていくというふうに考えておりますので、これはどうしても実現しなければならない、このように考えております。

◎中山裕司委員長

はい、野崎委員。

○野崎隆太委員

ちょっと先ほど財政の収支の計画の話を見せてもらったのですが、あれをもって進めるからには、僕はそこから余り差が出てはいけないと思っているのです。で、今の時点ではただ私は差が出ると思っています。

ですのでこのまま承認をしと言われても、正直なところ財政計画が、大きなずれが生じる可能性があるのであれば、案そのものは少しいかがなものかなと思っている部分もあるのですが、実際その、財政の計画の中で、この範囲であればずれでもいいというふうな形で考えているのか、それともこれを下回ったらやはり建設の基本計画自体を見直す必要があると思っているのか、そこだけちょっと教えてください。

◎中山裕司委員長

事務部長。

●佐々木昭人病院事務部長

計画については、私どもとすれば実現可能な計画として策定を今回はさせていただいた。

非常におっしゃるような厳しい部分があると思います。何分にも医師確保の部分が必ずしも保障があるというわけではない中で、新病院の方針を示しながら、またさまざまな対策をしながら医師確保をしていきながら経営改善をしていくという計画になっております。

ですので、何としてもこれについてはこの計画、あるいはさらに計画を上回るような形で進めていくことが病院の再建につながるというふうに思っています。

ですので、毎年の結果についてはきちんと公表させていただいて、そのことによって財政計画の見直し、こういったものもお示しもさせていただきたいというふうには考えております。

今としては、もうとにかくこの計画に基づいて、職員が一丸となって経営改善に取り組んで、1日も早く病院を活気ある病院にさせていただきたい。御支援をお願いしたいというふうに考えております。

(「委員長、もう最後にします」と呼ぶ者あり)

◎中山裕司委員長

はい。

○野崎隆太委員

最後に質疑というよりは、私の思いなのですけれども、正直なところ先ほども言いましたように、今の財政計画では少しちょっと認めがたい部分があるということだけ申して終わります。

◎中山裕司委員長

他にございませんか。

はい、黒木委員。

○黒木騎代春委員

このパブリックコメント、市民も真剣に意見を出していただいたと思いますので、単なるガス抜きというふうにとられかねないようなことのないように、誠実な対応をしていくようにお互い努めたいと思います。

その意味で、1番最初に公共交通を利用するの利便性の問題についてね、今後、取り組んでいただくということを言ってもらったので、それは一つに私は非常に評価できる点だと思います。

そこで市としての現状認識としてですね、利便性がよいと考えているということなのですが、さらに充実していくよう検討課題と市の考え方を回答の中で示していただいているのですけれども、具体的にそうしたら、市は利便性がいいと思ってるのに、市民の思いとはギャップがあるというのも現実で、具体的にどのような点で充実を考えていこうと言われるのか、検討課題といわれている、その辺をもう少しお考えがありましたら教えてください。

◎中山裕司委員長

推進課長。

●成川誠新病院建設推進課長

バスに関して不便だという意見もいただいております。

ですので、例えば三交バスとか市の運営しているおかげバスの中で新たなルートや見直し、路線の見直し等々ですね、協議をさせさせていただいて、今よりも利便性がいいようになるような働きかけを行っていきたい、そのように考えております。

◎中山裕司委員長

黒木委員。

○黒木騎代春委員

わかりました。

その点で、せつかくこの病院の建てかえに関する市民アンケート調査というものを去年の5月に

やっけていただけていますね。

この点でも、伊勢病院を選んでいる理由として電車、バスなどの交通が便利だという回答が14の選択肢のうち11番目ということでかなり低いわけですね。

具体的にそうしたら、伊勢病院を選んだ回答者に限定して各地区の傾向を見た場合、バスなどの交通機関の利便性で選んでいるという割合が、地域が少ないというのは、少ない地域が多いですね、これ。例えば五十鈴地区といたら地元ですね。この地元でもやっぱりこれ1.5%ですか。

それから特にそのやっぱり直行便がないというのがね、やっぱりそういう地域はゼロというのがね、けっこう上がっているんで、こういう点もですね、やっぱり検討していただく上ではですね、十分参考にしていただくというのが、責任ある対応じゃないかなと思うのですけれども、それについてももう一度お願いします。

◎中山裕司委員長
推進課長。

●成川誠新病院建設推進課長

御指摘いただいたような、今現地ですね、不便に感じていただいている部分についてはですね、前向きに利便性を高めていくように検討はしていきたいと、そのように考えております。

◎中山裕司委員長
はい、黒木委員。

○黒木騎代春委員

それではもう一つ、20番目に挙げていただいたですね、経営改善と建設計画、この問題ですね。

市の考え方としては経営コンサルタントの支援も受け、改善に取り組んでいくということで、まあ若干具体的なことも述べてもらっているのですけれども、私はこの、やはりこの問題にもしっかり応えていくというのが、やっぱり説明責任の果たし方だというふうに思っています。

私、今回の本会議場での質問の答弁、これを聞いておまして、今までよりはさらにこの問題については突っ込んだ答弁をしているなというふうに私、感じているのです。

しかしまだまだ十分、行き渡っていないという意味で言い訳に聞こえるというようなね、そういう側面も市民から見たら、やっぱりあるのではないかなというふうに思うのです。こういう意見が出てくるということはね。

そういう意味で、もっと公正的にこの問題で、なかなか病院側としては言いにくいのですけれども、客観的なそういう状況、そういうものを事実としてね、伝えるのは別に言い訳ではないというふうに思っていますので、公正的にこの問題についても回答を出していくというのが、考え方を示していくというのが必要だと思うのです。

そういう点で私、今まで赤字、黒字の問題でなかなか行政側としては言いにくい面があると思うのですけれども、例えばこれは岐阜県の中津川病院ですけれども、行政の広報ですね、公立病院はなぜ赤字かということを出してですね、やはりその客観的なその国の医療施策、この問題なんかに切り込んでわかりやすく説明しているのですよ。私これ全部肯定できるものではないのですけれども、こういうような努力も今後は必要ではないかと。何かこう逃げの姿勢に取られてい

ては言い訳に聞こえるという意味では、工夫をお願いしたいと思うのです。

例えばですね、医療法は非営利を原則としているわけです。もうけてはいけないということですよ、わかりやすく言えば。黒字を生まなければいけないというような発想ではないと思うのです、法律上からいってもね。

それから自治体病院における独立採算制ということを考える上でも、やっぱりこの辺はしっかりと区別するような、単なるその、何というのかな独立・・・、特別会計の企業として経営するというのをですね、単に独立採算をですね、単純に受け取るべきものではないということで、非営利原則を否定している点にも留意してね、自治体の経営する自治体病院のあり方というものをね、もう少しわかりやすく説明していただくということが本当の意味での経済性、公共性ということですね。経済性は公共性の下にあるものだというふうに僕らは思っています。

そういう点が非常にわかりにくいのですよ、これ。わかりにくいのですけれども、市民にわかるような言葉でですね、その辺を説明していただくという工夫があると思うのです。それについて今後の考えも聞かせて欲しいのですけれども。

◎中山裕司委員長

事務部長。

●佐々木昭人病院事務部長

ありがとうございます。

今回の議会において一般質問でも、4人の議員さんから御質問をいただいたのも同じように経営状況の御質問でございました。

その中にはやはり市民にきちんとですね、その状況を知ってもらった上で市民病院を位置づけをしていかなければいけないというような御意見もたくさんいただいておりますので、おっしゃるとおりかと思っておりますので、今どの方法がいいかということについてはですね、すぐお答えを申し上げられませんが、一度ぜひ検討させていただきたい、このように考えております。

(「はい、結構です」と呼ぶ者あり)

◎中山裕司委員長

はい、中村委員。

○中村豊治委員

このパブコメの結果については、昨日資料をいただいて熟読をさせていただいたわけでありまして。

特に2月1日から1カ月間、このパブコメが実施されてこの内容を見てみますと、専門的なやっぱり意見等々、貴重な意見を出されているわけでありまして。そのように私はこのパブコメに対して理解をさせていただきました。

今回、このパブコメからですね、市立伊勢総合病院の建設については、本当にこの市民各位の関心度、さらには市立伊勢病院の必要性、こういうものも当然読み取れるというぐあいに私は理解させていただきましたわけでありまして。

そこで今、御説明いただいたのですが、このパブコメを受けて結論といたしましては、当然この

修正の必要はないということで、この内容でぜひいきたいと、こういうようなことなのですけども、できればこの貴重な意見等ですね、やっぱり今出されておりますように、質問の中で出されておりますように、私はたくさんあるというぐあいに思います。

即実施できるもの、さらにはこれから検討してやっていかなければならない内容、特にこの中にあります人間性豊かな市民病院、これについては新しい病院ができるまでではなく、これは今からでも当然やっていくと、こういうことで、その回答の中にも整理をされてはいるわけではありますが、ぜひそういう面に取り組んでいただきたい。

これは非常に、やっぱり病院の職員の皆さんのいろんなモチベーションの問題、そういうことも含めてですね、この人間性豊かな市民病院については、いかなるときでも進めていかなければいけないというぐあいに思っております。

それからもう1点はですね、先ほど出ておりますようにこの交通機関の問題。

回答の中では、利便性はいいというぐあいに書かれてはいるのですが、やっぱり市民の中からのパブコメの内容を見ますと、伊勢病院は不便だと。いろんなバス、電車を乗り継いで行かなければいけない。

そんなような状況の中で、もしできればですね、こういうようなことも含めて、今一度この利便性の問題についても検証をお願いをして、検証していただいて、できるだけ積極的な取り組み、市民が期待している取り組みをぜひやっていただきたいと、こういうことでまずこの内容についてですね、そちらのほうから回答いただければ、取り組みのそういう内容も含めてお願いしたいというぐあいに思います。

◎中山裕司委員長

はい、市長。

●鈴木健一市長

人間性豊かな病院のその理念の部分に関しましてはですね、後ほどお答えをさせていただきたいと思いますが、交通施策の観点からですね、先ほど黒木議員からも御指導、御指摘いただきましたけれどもこれは非常に大きな課題であると思っております。

当然伊勢の、伊勢市楠部町という地点にありますので、それ以外の地域の方々からどういうふうにお越しをいただくかということはもちろんと精査をしなければならないというふうに思っております。

また、今予算審議もしていただいておりますけれども、おかげバスや寿パス、スクールバスとですね、これからのまちづくりにおいて交通政策、公共交通をどうしていくかというですね、再編する過渡期に今来ているというふうに感じておりますので、その点におきましてもですね、新伊勢病院のことも核に入れながらですね、伊勢市全般の交通政策に取り組ませていただきたいというふうに考えています。

◎中山裕司委員長

はい、病院管理者。

●藤本昌雄病院事業管理者

貴重な御意見ありがとうございます。

人間性豊かなということは、人と医療においても、人と人のふれあいというのが1番機軸になると思います。

そういった面で、職員のほうを啓発して、そういう運動も進めていきたいというふうに思っております。

常ですすね、この緩和ケアのほうは月1回、研修会を開いてやってくれていますので、そういったところからも人間性豊かな医療というのが広がっていくというふうに考えております。

ありがとうございます。

◎中山裕司委員長

中村委員。

○中村豊治委員

まあぜひ、そういうことで積極的な取り組みをお願いをしたいということで。

で、ナンバー11の総合診療、この相談しやすい総合診療を推進すべきであると、こんなような意見が出されているわけでありませう。

特に総合診療科の必要性等々は、回答では認識をしていると。例えば三重大へ医師の派遣等をお願いをして、検討しているというぐあいに書かれていますのですけれども、実際に現状ですすね、どのような形でこの総合診療というのについて考えているのか、検討されているのか、少し考えがあればお聞かせいただきたいと思ひます。

◎中山裕司委員長

病院管理者。

●藤本昌雄病院事業管理者

いろいろな総合診療という捉え方が、いろんなところでもありますけれども、これは例えば一つは患者さんがどこへかかっていいかわからない、そのとき、そこにかかったらいろんな治療とか手当て、あるいは適切な診療科へ案内をすると、そういった考え方もあります。

それからもっと地域に根ざして、それでいろんな診療科を超えてやっていこうという考え方もあります。

ですからこの伊勢総合病院がやっていく上で、医師会、それからほかの近隣の開業医の先生とか病院とかと相談をして、その基軸をつくっていききたいというふうに考えております。

◎中山裕司委員長

はい、中村委員。

○中村豊治委員

もう少しですすね、やっぱりこの総合診療というものについてはですすね、内科に置くのか、総合診療科ということで立ち上げるのか、具体的にいつごろからこの総合診療科についてはやっていくの

か、こういうことも含めてですね、ちょっとわかりやすく説明してください。

◎中山裕司委員
病院管理者。

●藤本昌雄病院事業管理者

今のところ、そういう役目は内科のほうでやっているというふうに思っております。

今、内科、人数が減りましたけれども、一応いろんな全体を見ていくという気持ちで皆あたっております。

ただ、大学のほうへの訪問の成果が上がればですね、そういったところと相談しながら、改めて総合診療科というのを立ち上げるかどうかというのは、今、検討をしておるところで、いろんなところの御意見をいただきながら検討していきたいと、考えていきたいというふうに思っています。

◎中山裕司委員長
中村委員。

○中村豊治委員

ぜひですね、この市民のですね、そういう期待も含めて、できるだけ早く応えていただきたい。

今回のパブリックコメント、パブコメが終わりましてですね、この市立伊勢総合病院建設基本計画（案）、こういうものについては修正しないというような方向で、今説明をいただいたわけであります。

私はこの基本計画（案）についてですね、今回のパブリックコメントで冒頭に申し上げたようにですね、市民各位から、私はある意味では確認されたというぐあいに判断はできるというぐあいに思います。

したがって、この基本計画についてはですね、もう一步もう前に出るべきだと、こんなふうに理解をさせていただいておりますし、ぜひそういう方向で進めるべきだというぐあいに思っております。

この点、御意見があったらお聞かせいただきたいと思います。

◎中山裕司委員長
病院管理者。

●藤本昌雄病院事業管理者

ありがとうございます。

そういう目を見て、捉えて、取り組み的に進めていきたいというふうに考えております。

ありがとうございます。

（「委員長終わります」と呼ぶ者あり）

◎中山裕司委員長

はい、西山委員。

○西山則夫委員

いろいろな取り組みをいただいて、今日を迎えたわけですがけれども、策定委員会の皆さんにも大変御苦労いただいて基本計画について御議論、御意見いただいたということを承りました。

それで今、中村委員のほうからも少し触れられていましたけれども、この病院建設基本計画をこのままの形で進めていきたい。そして策定委員会としても了解されたということでございますので、これを今、中村委員も少し触れられたと思うのですが、市民の皆さんにどのように、病院としての気持ちをお伝えするか。

やはりパブコメでもいろんな意見がございました。説明会でもいろんな意見もあったと思うのですが、そういった意見を元にして、伊勢病院としてこれから伊勢病院がこういう形で前へ進みますというところをですね、どのようにこれから対処していかれるのか、少しお考えがあればお聞かせいただきたいと思います。

◎中山裕司委員長

事務部長。

●佐々木昭人病院事務部長

今後、新病院に向けて、また現病院において病院の情報をどのように市民の皆さんのほうへ発信をしていくかというお尋ねだと思いますが、私どもとしては、まずこの新病院計画の骨子について、できる限り早い時期に広報のほうへ掲載をさせていただきたい。

それで1回で終わるのではなくてですね、さまざまな病院の情報についても新病院に向けて、あるいは現在のさまざまな情報についても積極的に今後、広報・ホームページ等を通じてですね、市民のほうへ発信をさせていただきたいと考えております。

◎中山裕司委員長

はい、西山委員。

○西山則夫委員

今、事務部長おっしゃられましたようにですね、やはり市民の皆さんにどう情報を発信して、そして病院の姿形をどう理解していただくかと。本当に今大事な時期だと思うのです。

そういう意味ではパブコメをいただいた方、説明会に来ていただいた方にもこういう内容で整理をしましたということをきちんとですね、今、広報を通じてやっていただけるということでございますので、そこら辺はきちんとやっていただいて、理解を得られるような努力をぜひお願いを申し上げたいと思います。

二つ目は、これも先ほど黒木委員、中村委員から出ています。口頭でですね、検討課題として4つほど挙げられました。

一つは交通機関の問題。一つは屋外スペースの利活用の問題。それから総合診療科、そして医療情報システム、これらについては検討していきたい。待つのではなく早急に検討していきたいとい

うことですが、やはりこういう委員会がございましてやはりきちんとですね、早く手を打って、今、黒木委員がおっしゃったように交通、中村委員もおっしゃいましたが、交通機関の問題のあり方がどこにあるのか、いやこうすればいいではないかという議論を早急に固めて、これは私ども議員も市民の皆さんにこういうかたちで市民病院へ行くルートを考えていますということの説明が皆さんにできるように、やっぱりしていく必要があるのかではないかと。

例えば今、中村委員がおっしゃいました総合診療科の問題でも、いや病院はこういうことを考えていると。それを我々議員もこういう病院にしていきたいのだということを知っている、ぜひ期待をして欲しいというようなことを市民の皆さんにPRできるような、そういう取り組みをぜひ、待つのではなくこういう委員会でも議論をしてやっていくと、そういう気持ちがおありかどうかお聞かせをいただきたいと思います。

◎中山裕司委員長
事務部長。

●佐々木昭人病院事務部長

委員おっしゃるとおり、今後もですね、広報ももちろんですが議会のほうへもお示しできる内容が出てまいりましたら、速やかに提出をさせていただいて御意見を頂戴したい、このように考えております。

◎中山裕司委員長
はい。

○西山則夫委員

いろいろ本会議の議論とかね、いろいろございましたけれどもやはり一つの形が固まった、これをもとにして出発をしていくことの決意をぜひ固めていただいたと思いますので、我々もこれからいろんな議論に参画をさせていただいて、建設に向けての議論を十分深めていきたいと、このように思いますので、今後ともお互い忌憚のない意見交換をさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

◎中山裕司委員長
はい、どうもありがとう。
はい、世古委員。

○世古明委員

私も交通手段についてはお聞きしようと思っていたのですが、もう他の委員からも質問がありましたし、回答もいただいたので止めますけれども、これから本当に高齢化ということが進んでくると、高齢の方だけではありませんけれども、その人たちの病院へのアクセスという問題はやはり重要になってくるのかなということで、これは病院ができるとかできないではなくて、もう取り組んでいただきたいと思います。

それと1点、このパブリックコメントの中の回答で確認をさせて欲しいのですけれども、17ペー

ジです、軟弱地盤に対する懸念の中の回答で、地質調査というのは今後これからになるのですけれども、東日本大震災でよかった事例というか、そういうのが載せられておりますけれども、具体的にはこれほどの地域のどういう病院というのを指すのでしょうか。

◎中山裕司委員長

はい、参事。

●谷口尚都市整備部参事

日赤さんの病院というようなところでお聞きをいたしております。石巻の病院であるというところでは。

◎中山裕司委員長

はい、世古委員。

○世古明委員

石巻市の日赤病院でございますね。

これから地質調査なので、全て条件が一緒かわかりませんが、参考になる事例を書かれていますのかなと思いますので、その辺をまた教えてください。以上です。

◎中山裕司委員長

ほかに御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

ないようですので、私のほうからも一言、申し上げておきたいと思います。

先ほど、西山委員も言われましたけれども、長きに渡って当委員会でもいろいろと病院問題を真剣に議論してまいりましたし、それからこの新病院建設の策定委員会の委員の皆さん方、本当に熱心にいろいろと議論をしていただきまして、これが最終的な作業を終えていただいたということに関しまして、当委員会といたしましても感謝申し上げたいというように思っております。

これは、今回の示された策定委員会の皆さん方の意見をですね、やっぱり真摯に受けとめて、病院からもですね、しっかりとやっぱり今後の病院の改善のために、経営改善のためにも頑張っていたきたいし、1日も早い新病院の建設が完成されるように努力をしていただきたいと、このように思っております。

それから先ほどから出てきておりましたように、現在の病院の交通の利便性をどういような課題で図っていくか。これは近々、今現在でもその病院をですね、新病院じゃなくて現在の病院の中でも近々に解決していかなければならないこれは問題だと思います。

やっぱりそういうことは、多くの伊勢病院を利用されている方からよく耳にいたします。現実的な問題だということに理解をいたしておりますので、これらの問題につきましては、私は、先ほど市長が申されたように伊勢市における交通政策の視点から、この問題をやっぱりもう一度見直して

いくということが非常に必要ではないか。

この一つの例といたしまして、おかげバス。おかげバスは今日非常にこう見ておりますと、当初からもう惰性のような形で進められてきている。

この辺を抜本的にやっぱり改良していく必要性はあるのではないかなど。これは近くにですね、確か愛知県の知立市だったと思うのですが、そういうようなバスの新しい取り組みをやっておるとい、私は資料を持っているのですが、それをもとにして、私的なことですがけれども三交と私は大分勉強会をしたことがあります。今のおかげバスをですね、もっと有効活用していくという方法は、どれでもとれるというふうにも聞いておりますしですね。

そういうようなこともあわせて、やっぱり近々に交通の利便性を図っていくということ。

それから先ほど黒木委員から出されましたけれども、やっぱり病院の赤字体質というようなことが叫ばれております。これは今日の委員会でも冒頭にそういう発言がありました。

それでそういうような煽るというような感じがあるわけでありまして。

これは、そういうことがですね、その今のように、私はやっぱりそういう形で赤字が改善されない、私はそう思う。

これは私から言わせると、一番卑怯な放言であるというふうに思っております。

ならば、どのようにしていくことが必要なのかという対案は、私はしっかりと示すべきだと、議員として。そのように思っておりますので、その赤字体質を煽るというような、これはやっぱり我々議員としてはですね、この体質をどういう形で改善していくかということは、我々にも一つのやっぱり責任があるわけでありまして、議会としていたしましても。

そういうこともあわせて、これからはそういう意味でですね、我々は病院問題が、病院、ないしは、いわゆる病院設置者、病院管理者だけの問題ではなくて、やっぱり議会としてもこれらの改善に真摯に取り組んでいくということの姿勢が必要ではないかなというふうに思っております。

そういうことで、これが恐らくこの病院の、策定委員会の報告ということが最後になりましたので、あわせて委員長としての思いを申し述べさせていただきたいというようなことで、申し上げさせていただきます。

そういうことでございますので、最後に何か市長のほうから何か意見がありましたら、どうぞ。

●鈴木健一市長

本日はたいへん、皆さんお疲れのところですね、こういった会議を開いていただきましてありがとうございました。

本会議でも申し上げましたけれども、高齢化社会において、地域医療の存亡がまちの存亡につながっていくというのは明らかになっていますし、しっかりとやっていきたいと思っております。

ようやくスタートラインに着いたというよりも、まだスタートラインが見えてきた段階ですので、これまで以上に御支援をいただきたいと思っております。

先ほど野崎委員から財政のことについての御質問を頂戴いたしましたけれども、ひとつやはり我々としては流動的な要素もあるということをですね、認識をしっかりとしなければならぬと思っております。

例えば診療報酬の改定のこともありますし、例えば保険診療の適用のこともあります。また新しい課や、また今議論されておりますTPPのことについてもですね、この医療環境について影響があるかというふうに感じております。

これまでの市政の反省点といたしまして、例えば海上アクセスで事業計画の数字を少し上げてしまっていたり、そういったことも反省しておりますし、この点については全庁的に数字というのは、しっかりとできる限り全力を尽くして間違いのない数字をたたいていこうということをかねがね言わせていただいております。

また先ほど申し上げました流動的な要素のことについては、やはり病院自身もしっかりと情報収集ができる組織体制、そしてそれに対してどういうふうに対応していくのか、こういったこともですね、リスクシミュレーションとして、きちんと中に体制をつくって行って、これからの病院体制の強化をしていきたいと思っておりますので、ぜひですね、またこれから、これはどうなのかという厳しい御意見もやっぱりいただきながらですね、いい病院をつくっていきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。

◎中山裕司委員長

それでは御発言もないようでございますので、以上で終わりたいと思いますが、あとは議員間討論を進めてまいりたいと思います。

何か議員間討論で御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、以上で討議を終わります。

本件につきましては引き続き調査を継続していくということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御異議なしと認めます。

本件については引き続き調査を継続いたします。

本日御審査いただく案件につきましては以上でございます。

それではこれをもちまして教育民生委員会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

閉会 午後4時54分

上記署名する

平成 25 年 3 月 12 日

委 員 長

委 員

委 員